

大伴小だより

9月号



富田林市立大伴小学校 校長 岩片 啓子

富田林市南大伴町一丁目2番20号

0721-24-3104

寄り添う心



なが なつやす ま ひ や こ げんき どうこう
長かった夏休みもあったという間、日焼けした子どもたちが元気に登校し
すがた うれ おも とも さいかい たの できごと
てくれる姿をととても嬉しく思います。友だちと再会し、楽しい出来事を
はな げんき あそ ようす み がっこう こ
話したり、元気に遊んだりしている様子を見ると、学校が子どもたちにと
たいせつ いばしょ あらた かん
って大切な居場所であることを改めて感じます。

いっばう やす ちゅう たいせつ かぞく かな わか けいけん こ こころ
一方で、この休み中には、大切なご家族との悲しい別れを経験した子どももいます。心に
ふか かな かか しんがつき むか とも わたし わす
深い悲しみを抱えながら新学期を迎えた友だちがいることを、私たちは忘れてはなりません。
がっこう まな ば どうじ たが おも ささ あ ば とも きも
学校は、学びの場であると同時に、互いに思いやり、支え合う場でもあります。友だちの気持
ちを大切にすること、困っているときにそっと寄り添うこと、相手の立場に立って考えること、
こ じんせい ささ たいせつ ちから
これらは子どもたちにとって、これからの人生を支えていく大切な力になります。

あ まえ にちじょう とつぜんうしな こころ いや こ えがお と もと あ
また、当たり前の日常が突然失われた心を癒し、子どもたちが笑顔を取り戻すには、当
り前の日常が提供される学校が大きな役割を担っていると思っています。

しんがつき こ ひとり えがお あんしん す
新学期、子どもたち一人ひとりが笑顔で安心して過ごせるよう、
がっこうぜんたい あたた ふん い き つく おも かてい
学校全体で温かい雰囲気を作ってまいりたいと思います。ご家庭
におかれましても、子どもたちが安心して学校生活を送れるよう、
ひ つづ あたた はげ みまも ねが
引き続き温かい励ましと見守りをお願いいたします。



6月、三重県の銀行から、『(株)田中浚渌工業』様が企業の社会貢献活動の一環として、大伴小学校
に必要なものがあれば寄贈したいというお話がある」と、電話をもらいました。初めは驚いて、そ
んなことがあっていいのかと思いましたが、本校の保護者や卒業生の方々が勤務しておられ、大伴小
を応援したいと選んでいただけたとのことでしたので、ありがたく受けさせていただきました。

いろいろな行事で活躍する簡単テント2基と、春と秋にはいつも苦勞している落ち葉をラクに
処理できるブロワーが先日届きました。本当にうれしいです！ 大切に使用させていただきます。

本校を推薦して下さった保護者の皆様をはじめ、『(株)田中浚渌工業』様に深く感謝申し上げます。